

| 件名  | 提案理由  | 審議の状況         | 採決の次第     |
|---|---|---------------|-----------|
| <p>報告第4号<br/>平成27年3月31日付け退職者、平成27年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について</p> | <p>退職者、転出者、転入者等を報告するものである。</p>  | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |
| <p>報告第5号<br/>平成26年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について</p>                             | <p>平成26年度における奨学資金貸付基金の運用状況について報告するものである。</p>                                      | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |
| <p>報告第6号<br/>垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について</p>                       | <p>垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について、教育長の臨時代理により要綱を制定したこと、及びその内容について報告するものである。</p> | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |
| <p>報告第7号<br/>平成27年度垂水市の学校医の委嘱について</p>                                   | <p>平成27年度垂水市の学校医に欠員が生じたことに伴う後任の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>  | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |
| <p>報告第8号<br/>平成27年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について</p>                              | <p>平成27年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>           | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |
| <p>報告第9号<br/>垂水市スポーツ推進委員の委嘱について</p>                                     | <p>垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>                  | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |

|   |   |               |           |
|---|---|---------------|-----------|
| <p>議案第25号<br/>垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について</p> | <p>垂水市教育委員会外部評価委員を委嘱しようとするものである。<br/>任期：2年</p>                              | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |
| <p>議案第26号<br/>垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について</p> | <p>垂水市奨学資金奨学生選考委員に欠員が生じたことに伴い、後任を委嘱しようとするものである。<br/>(任期)<br/>平成28年3月31日</p> | <p>特記事項なし</p> | <p>承認</p> |

平成27年度第1回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所   | 出席者  |   |
|--|--|---|
| <p>平成27年4月10日（金）</p> <p>午後1時40分</p> <p>↓</p> <p>午後2時40分</p> <p>第2研修室</p> | <p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長 濱 重 光</p> | <p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 森 山 博 之</p> |

# 会 議 要 旨

## 1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成26年度第12回教育委員会定例会を開会した。  
議案第25号と第26号の議案2件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会  
一致で議決された。

## 2 平成26年度第12回定例会及び第4回臨時会会議録の承認 承認

## 3 委員報告

## 4 議 事

- 報告第 4 号 平成27年3月31日付け退職者、平成27年4月1日付け教育委員会職員及び  
小・中学校教職員定期人事異動について（教育総務課）
- 報告第 5 号 平成26年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について（学校教育課）
- 報告第 6 号 垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について  
（教育総務課）
- 報告第 7 号 平成27年度垂水市の学校医の委嘱について（学校教育課）
- 報告第 8 号 平成27年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について（学校教育課）
- 報告第 9 号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について（社会教育課）
- 議案第 25 号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について（教育総務課）
- 議案第 26 号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について（学校教育課）

## 5 その他

## 6 閉 会

| 3 報 告 | 委員報告   |
|-------|--|
| 委員長   | 教育委員の報告に入る。  |
| 委員長   | <p>4月6日の小・中学校の入学式に参列した。小学校の入学式は垂水小学校に参列した。卒業式は牛根小学校であった。入学式、卒業式ともに、いつも感じることだが、大規模校と小規模校のシチュエーションというか、あり様、条件というのに違いがあるような気がしている。自らというか、自然と子どもの開放の状況を引き出しているのではという思いがしてきた。大人数と少人数、本市では少人数の方が多いのだが、大規模校、垂水小学校は72名が入学したけれども、注意力が散漫になる子がより多く出てくる感じがした。少人数で少ないところは2～3人なので、「自分しかいないんだ、自分がしっかりやらなければならないんだ。」という自覚、緊張がしっかり認識されているような印象を受けた。また、地域の方々が心温かい支援、心遣い、そういう気持が一体となって式典を大きく包んで支えている印象を持った。</p> <p>大学の機関等で、こういう子どもの数との相関関係を研究でも進めていただければ、あるいは、もう既にそういうものがあるのかなど、そう思ったりもした次第である。</p>   |
| 田原委員  | <p>3月24日垂水小学校の卒業式に出席した。厳粛な中に心温まるシーンがあった。PTA、保護者のあいさつの中に、小さかった1年生頃からの成長をふり返るようなエピソードが盛り込まれ、その様子がわかりやすかった。また、ひな壇の花がすごくきれいで、会場が明るく輝いていた。卒業式の歌で歌われた「仰げば尊し」の音が少し小さかったような感じがした。現代文の歌の方は大きかったけれども。</p> <p>4月6日は水之上小学校の入学式に参加して、今年は例年になく新生が多く16名だった。告辞を読みながら、ちらちら新1年生をみていたが、最後まで姿勢を崩さず聞いててありがたかった。16名中7名が定住促進住宅に住んでおり、言わば外部からの入学者ということで、それだけ新しい風が入ってくるのだと思うことだった。子どもがなれるのも大変だが、保護者の方々が地域にどう溶け込んでいくか馴染んでいくかが大事ではないかと思った。</p> <p>中学校の入学式では、水之上の児童クラブ開設時に入っていた児童が新1年生となっており、時の流れを感じたところである。厳粛な雰囲気の中で行われた温かい式であった。卒業式の素晴らしさから見れば、まだまだといった気がするが、今後どう変わっていくかが楽しみである。</p> |
| 中谷委員  | <p>3月24日に協和小学校の卒業式に出席したが、今年退職という担任の先生の自らのギターの演奏で6年生全員が担任の先生と歌を歌い終わってシーンとなった。後から「あの時なぜ拍手しなかったのか」と後悔している。ほかの委員にお聞きしたいのだが、ああいう時に褒め称えるべきでなかったかのかなど。シーンとなって次の場面に移ってしまい、一所懸命練習したのに何もなかったのかなど自分で反省している。</p>   |

中谷委員

3月26日に柗原小学校を転出される先生にお礼をしたい、会ってお別れをしたいと高校生6人が連絡を取り合って親子で集まった。先生が一人一人に話をしてくださって、こんな会もいいなと思った。子どもたちが大人になって生きていくときの力を、時機をきちっと捉えて私は教育委員をしている存在でありたいと思うことだった。

3月30日には高校を卒業して県外に就職していく子を見送りに鹿児島中央駅まで行った。発車のベルが鳴ると母親は泣いていた。子どもを15歳なり18歳なりで外に送り出すということは寂しいこと、未来がある別れだがまた寂しい季節が巡ってきたなど改めて感じたことだった。子どもの旅立ちのあいさつの言葉の中に、子どもを思わない日はどの親もありません。毎日子どものことをどの親も思っていますとあった。親にとって、大人になってもいくつになっても子どもなんだと改めて思った。この春に卒業していった垂水の子どもたちが幸せに暮らせますようにと願うことだった。

田原先生の送別会でのあいさつの言葉の中で、異動になった先生や市の職員に「あなた方は願われて新しい学校や部署に行くのです。だから大丈夫なんです。願われているんですよ。」というのを聞いてそうなんだなと思った。人は、やはり願われている存在というのを大事に思っていたら、大切に持っていたら頑張っていけるんだと思った。ありがとうございました。

新城小学校の入学式に出席させていただいて、予定は3名だったが転入されてきた先生の子どもさんが校区に住んでくださるということで新1年生が3名から4名に増えて、校長先生が非常に喜んでおられた。そこで働く先生が地元の地域に住んでくださるということは、すごく素晴らしいことだなと思った。地域の方々もすごく喜んでおられた。新入生は男の子が3人で女の子が1人だったが、1人の新1年生が母親から離れられずに入場もできずに、しがみついて離れなかった。教頭先生の無理なことはさせないという対応に子どもも安心したみたいで、式で名前を呼ばれば大きな返事もできるようになり、学校側の対応は非常によかった。

葛迫委員

3月24日の卒業式は水之上小学校に参列した。小さな学校ということで卒業生6名で一人一人がお別れの言葉を言い合って、在校生は卒業生に対して、これまでいろいろ教えてもらったことや勉強をみてもらったこと、パソコンや遊びを教えてもらったことについて、ありがとうという感謝の気持ちで送り出していったということは、非常に印象的だった。卒業生も中学生になっていくんだけど、後のことは在校生の君たちに頼むよという感じで卒業式が行われた。中学生になったらテニスをして体を鍛えたいとか、将来の夢はトラックの運転手になりたいので社会や体育、数学を一生懸命勉強したいと、一人一人が抱負を語っていた。非常に希望に満ちた卒業式であったなと感じた。

教育長

松ヶ崎小学校の入学式に出席した。当初、女の子1名だけの入学予定であったが、大石教頭の子供さんが新1年生と5年生に転入され、嬉しい2名の入学式となり、地元の新1年生のご両親が喜ばれている姿が印象的だった。素晴らしい入学式だった。

柗原小学校の入学式の様子をお聞きしたが、新城小学校が卒業式、入学式ともに地域の方の出席も多いところであり、そういうことを見習ってか、

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 教育長                        | <p>森山館長をはじめ、声かけしてくださるなどしていただき、今年の入学式から地元の方々もたくさんご出席いただいたと聞いて、非常にうれしいニュースであった。</p> <p>中央中学校の新1年生は88名で、118名の卒業生だったので生徒数が30名の差があるわけで、何を感じたかということ来年は少し増える見込みではあるが少子化の影響が大きいなと感じたところである。そして、3年後の垂水高校への入学の課題が出てくるなと感じた。</p> <p>先ほどの中谷委員から式典の際の称賛の拍手のことが出たが、どうしても式典は厳粛な中で行わなければならないという先入観があって、特に教育委員としてはそれがあるわけで、くだけてもいけないし、最後まで厳粛でなければいけないというのがある。例えば、中央中学校の卒業式を思い起こしていただければ、式典がいったん終わって卒業生が3列に並んで歌った時も拍手はしない。そういう雰囲気の中で退場していくわけであるが、その兼ね合いが難しい。拍手しないからといって責められることでもないし、その場に応じて対応されれば良いと思う。</p> <p>子供たちに式典や葬式とかの場面を経験させることは、成長の過程に非常に大切なことである。田原委員もおっしゃったように、そわそわしていた新1年生が1年経つと50分、1時間15分じっと座っている。成長というのは大きい。そういう式典を経験させることは、耐えることができるようにする貴重な経験であると思う。</p> |
| 教育総務課長<br>学校教育課長<br>社会教育課長 | <p>3月16日から4月10日までの主な行事等について報告。<br/>併せて、5月11日までの行事予定についてお知らせした。</p>  |
| <b>4 議 事</b>               | <p><b>報告第 4 号</b></p>   |
|                            | <p>平成 27 年 3 月 31 日付け退職者、平成 27 年 4 月 1 日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について</p>   |
| 教育総務課長                     | <p>退職者、転出者、転入者等を報告するものである旨、及びその内容について報告。<br/>(質疑なし)</p>   |
|                            | <p><b>報告第 5 号</b></p>   |
|                            | <p>平成 26 年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について</p>   |
| 学校教育課長                     | <p>平成 26 年度における奨学資金貸付基金の運用状況について報告するものである旨、及びその内容について報告。<br/>(質疑なし)</p>   |
|                            | <p>(次項へ)</p>  |

|        |  |
|--------|--|
| 教育総務課長 | <p><b>報告第 6 号</b><br/> <b>垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について</b><br/> 垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について、教育長の臨時代理により要綱を制定したこと、及びその内容について報告するものである旨、及びその内容について報告。<br/> (質疑なし)</p> |
| 学校教育課長 | <p><b>報告第 7 号</b><br/> <b>平成 27 年度垂水市の学校医の委嘱について</b><br/> 平成 27 年度垂水市の学校医に欠員が生じたことに伴う後任の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである、及びその内容について報告。</p>                       |
| 中谷委員   | 「りんどう心のクリニック」とは、どういった病院か。子どもから大人まで診れるのか。   |
| 学校教育課長 | 心療内科系である。学校の内科医ということでの委嘱である。   |
| 学校教育課長 | <p><b>報告第 8 号</b><br/> <b>平成27年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について</b><br/> 平成27年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである、及びその内容について報告。</p>                               |
| 田原委員   | 9名から11名に増員したということだが、学校からの要請か。  |
| 学校教育課長 | そうである。   |
| 教育長    | 予算上は13名分措置してある。垂水小学校以外は要望通り。垂水小学校は3名から4名に増やしたが、あと1人増やしてもいいのかなと考えている。場合によっては、中央中学校も1人から増やす可能性がある。ただ、市報等で募っても応募者がいない。教員免許はいらないので、子育てを終わられた40代ぐらいで向いてるなどと思われる方があれば、ご紹介いただきたい。   |
| 社会教育課長 | <p><b>報告第 9 号</b><br/> <b>垂水市スポーツ推進委員の委嘱について</b><br/> 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである、及びその内容について報告。</p>   |
| 中谷委員   | 7番の方の職業は、主婦でいいのか、公民館主事ではないのか。  |
| 社会教育課長 | 現時点で公民館主事の委嘱は行っていないので、ご了解いただきたい。<br>(次項へ)  |



議案第 25 号  
垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について  
(非公開)

議案第 26 号  
垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について  
(非公開)

なし

5 その他

6 閉 会

